

平成28年度 第3回家庭教育支援推進方策に関する検討委員会 資料



地域に根ざした  
家庭教育支援チーム型支援の  
普及啓発について

家庭教育支援チーム  
大洲子育てサポート “そよ風”

1



いじめ・不登校・虐待・養育不安・高校中退等の増加

## 愛媛県 大洲市

○県庁所在地 松山市  
より、車で約1時間

○人口 約45000人  
(H28年 7月末現在)

保育所	18	1089 名
幼稚園	6	160 名
小学校	13	1589世帯
中学校	10	1079世帯
高校	5	

2

# 大洲子育てサポート”そよ風”の概要

平成20年度 喜多っ子サポートチーム  
(対象：喜多小校区)  
家庭教育支援総合推進事業（文科省）



平成23年度 大洲子育てサポート“そよ風”  
(対象：大洲市全体)  
学校・家庭・地域連携推進事業（大洲市）



平成28年度 9年目を活動中

3

方針 身近な支援者として保護者に寄り添う

アウトリーチ型の支援を行う

フットワーク

支援機関とのパイプ役となる

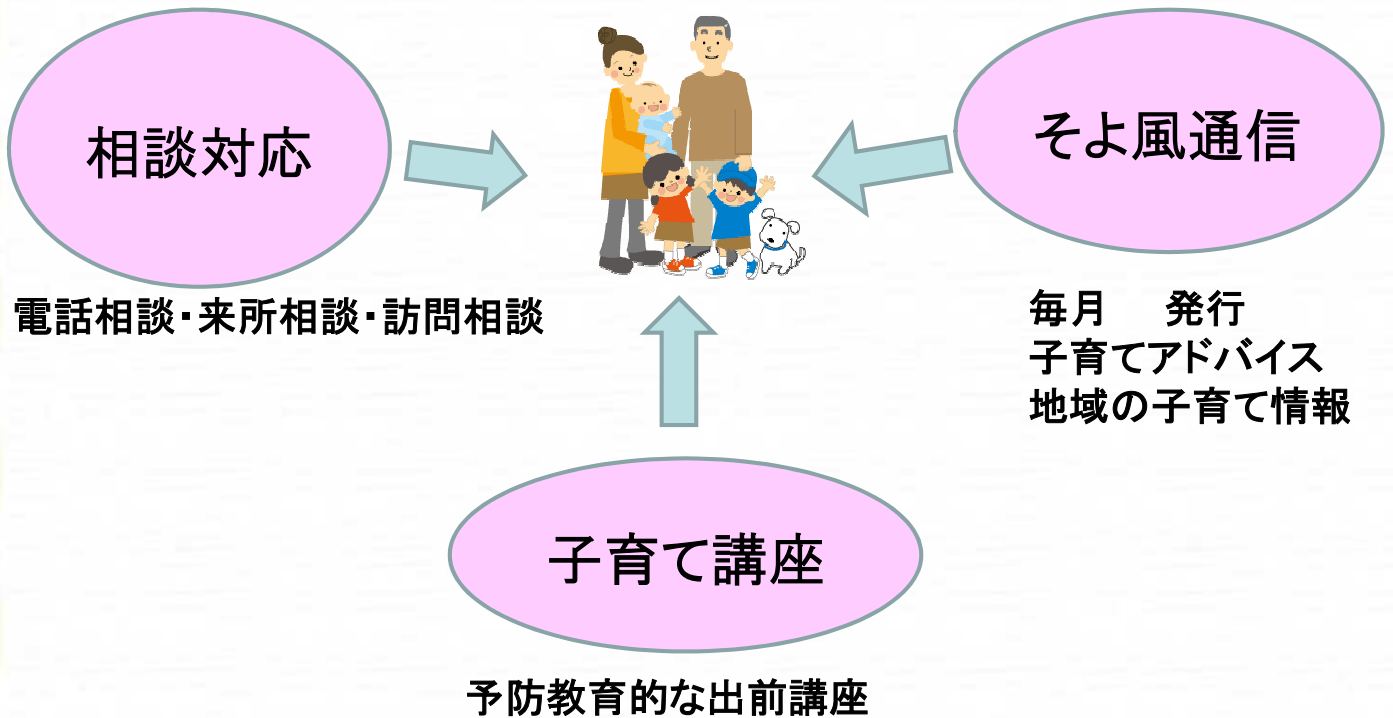
ネットワーク

心理・教育・発達の支援を行う

チームワーク

4

# 活動内容 ～届ける支援～

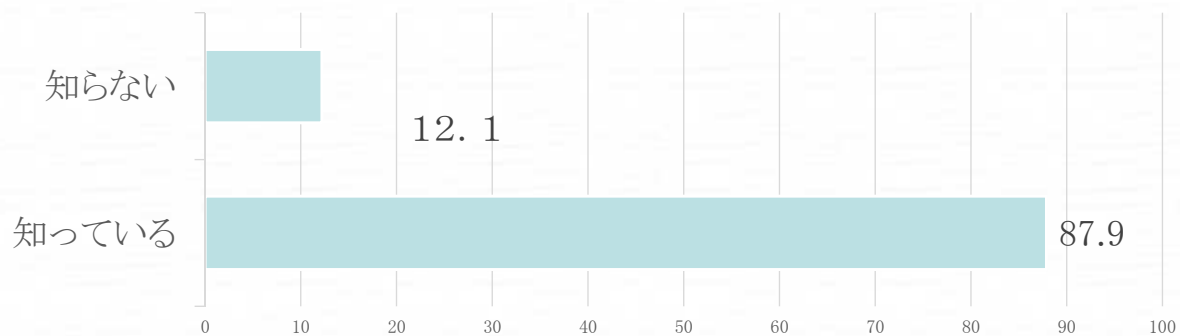


5

## 1 「そよ風」の現状...アンケート実施 (H28, 5月)

対象:保・幼・小・中保護者(回答数1270)

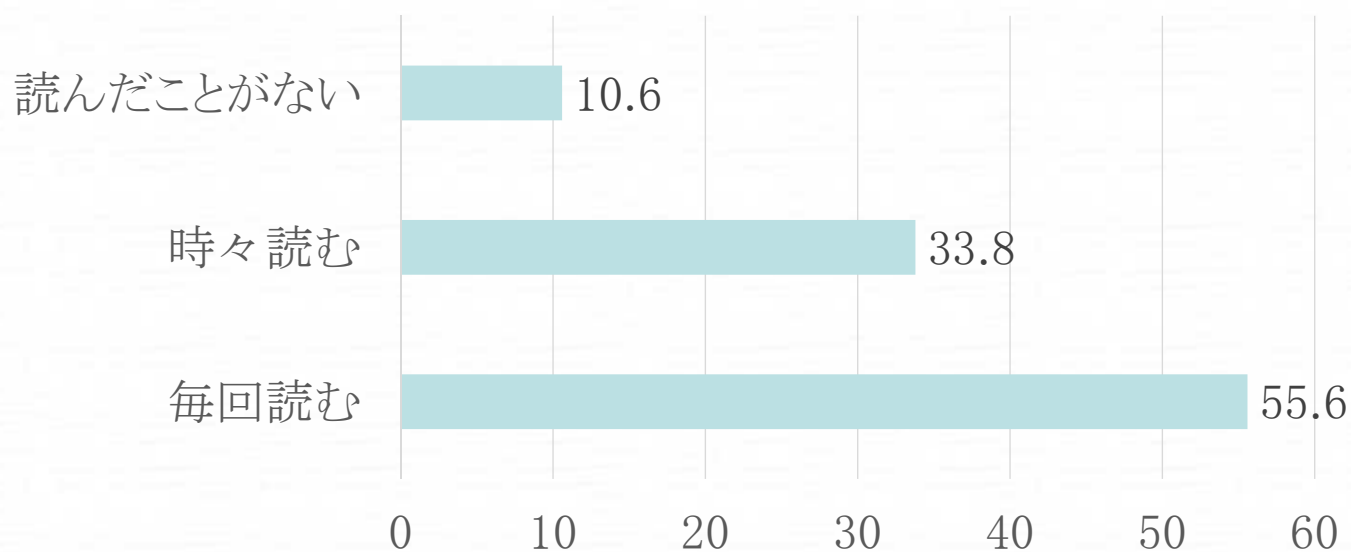
そよ風サポートを知っていますか?



○ 9割近くの保護者に認知されてきた。

6

## そよ風通信を読んだことがありますか？



○「毎回読む」、「時々読む」を合わせると、9割近くあり、多くの方に読まれていることが分かる。

7

## 相談件数の推移

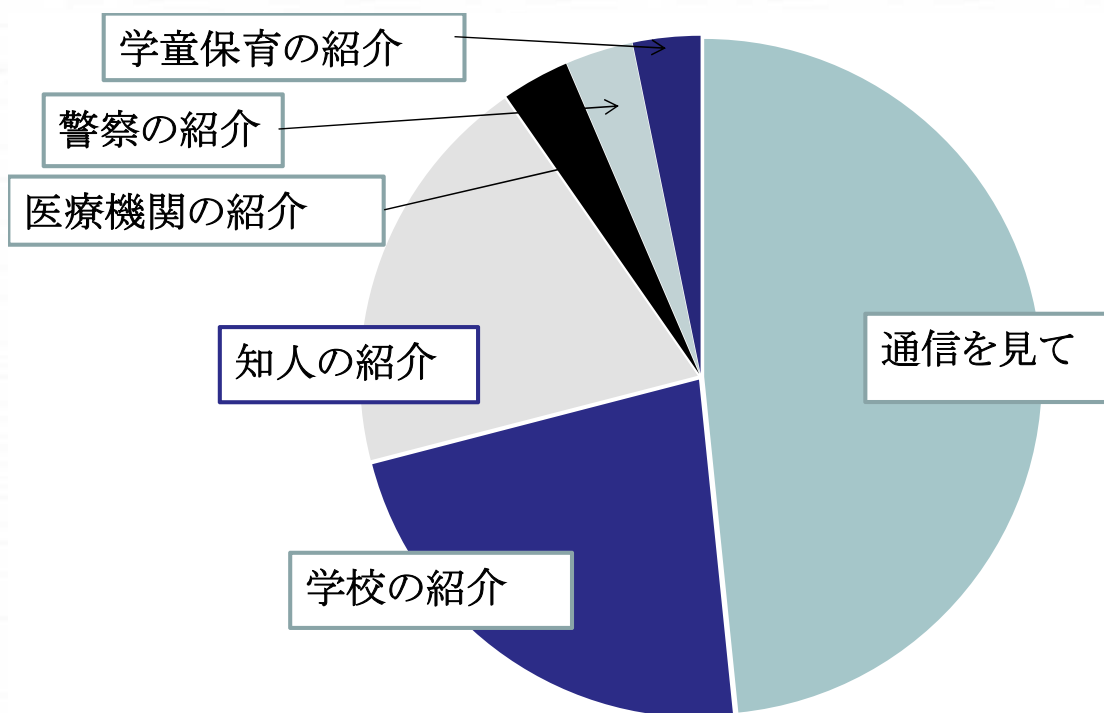


○次第に認知され、相談者が増えてきている。

8



# そよ風サポートへの相談のきっかけは？



9

## 2 普及啓発のための足掛かり

(1) まずは、保護者に「そよ風」の存在や活動内容を知ってもらおう・・・

- 市内の保育所・幼稚園・小学校・中学校を訪問
- 関係機関(児童館、公民館、市子育て支援課、福祉課、学校教育課、青少年補導センター)を訪問
- 色々な場で取組の様子を紹介

各小・中学校のPTA総会、社会教育委員会、民生児童委員協議会、保育所長会、養護教員部会、不登校事例検討会、青少年健全育成大会・婦人会連合会など

10

## (2) 経常的な事務所、相談スペース

- 事務局 大洲市教育委員会  
生涯学習課
- 事務所 喜多小学校 西校舎2階
- 月・火・木・金  
9:00~16:00
- 2, 3人ずつ交代で待機
- 木曜日 : スタッフ会議  
(相談対応事例・通信・  
講座内容検討)



11

## 22(3) チーム員の構成

元教員 元保育士 臨床発達心理士 人権擁護委員 保護司

主任児童委員 民生児童委員 小・中学校教育相談員

高校スクールライフアドバイザー 警察少年サポーター

大洲市家庭教育相談員(市子育て支援課) (計 9名)

- 全員が地域住民、子育て経験者、子育てに関わる専門家。
- 多様な立場から相談対応できるのが強み。
- それぞれの属性を生かして、関係機関と連携できる。

保・幼・小・中学校、民生委員、市子育て支援課・  
医療機関、児童相談所、警察生活安全課・法務局

12

### 3 子育て支援の普及啓発のポイント

#### (1) 受容共感的な姿勢

○「相談対応」、「子育て講座」、「そよ風通信発行」のすべての分野で。

- ・まずは、親を勇気づける
- ・教え導くのではなく寄り添う
- ・見張るのではなく、見守る



安心感  
信頼感

\* 再来者の増加、クチコミでの紹介

13

#### (2) 今ある資源を利用

○ 新たに作り出すのではなく、今ある行事等に入り込む

(例) 児童館のひよこクラブ…子育て広場(定期)

保・幼・小の参観日……子育て講座

就学時健診……………子育て講座

PTA専門部の事業……父親いどばた会議等



14



### (3) アウトリーチの手段として通信を活用

- A4 両面
- 毎月1回 5200部発行（現在86号）
- 配布先 保・幼・小・中学校全家庭  
公民館、民生委員、児童館等
- 掲載内容  
子育てちょっとアドバイス・大洲子育て情報  
子育てことわざ・朝ごはんレシピ・子育てQ&A
- チーム員による執筆・印刷・配布
- 身近で具体的なテーマ、地域性重視

相談や講座に来られない人の予防教育に

15

### (4) 学校等ではできにくい支援

- 長期的な切れ目のない支援  
乳幼児から高校生まで
- 学校とのトラブル、家族関係、医療へのつながり  
連携・付き添い…学校、福祉課、裁判所、  
法務局、ケース会議等
- 柔軟な対応 希望の時間・場所  
引きこもり、不登校生宅の家庭訪問

16



## (5) 子育て講座・子育て広場の充実

- 年間計画に基づいて実施。実施後の検証
- アンケートや感想文による効果度把握
- 実施後、それぞれの場所で個別相談対応
- 研修会参加による資質向上

ファシリテーター養成講座、地域コーディネーター研修会  
読み聞かせ講習会、学校・家庭・地域連携推進研修会、  
いのちの電話研修会、虐待防止等研修会、民生児童委員  
・主任児童委員対象の研修会、学校相談員対象研修会、  
人権擁護委員研修会など・・・**定例スタッフ会で共有**

17

## 4 活動推進上の課題

### (1) 福祉部門との連携の難しさ

- ・ 縦割り行政
- ・ 個人情報保護の壁
- ・ チーム員の身分上の信用度



- 行政部門間の連携協力依頼
- 福祉課の母子支援窓口にリーフレット
- 子育て支援課とスタッフ連絡会（月1回）・・・情報共有

18

## (2) 家庭訪問型支援の課題

- ・ 留守家庭の増加
- ・ 保護者の警戒感、拒否感
- ・ 日常的な見守りの困難さ



- 絵本や誕生祝いを届ける応援メッセージとしての訪問
- 保育所での参観日を利用した子育て講座、相談対応
- 日常の見守りは、地域の民生委員と連携

19

## 5 今後に向けた取組

- 孤立家庭への支援... Iターン・Uターン家庭  
ひとり親家庭・共働き家庭
- ・ 市外よりの転入学手続き時に、  
そよ風のリーフレットや訪問希望のはがきを配布
- 中学校での講座
- ・ 思春期講座、早寝早起き朝ごはん講座

20

## 参考資料

### 大洲子育てサポート「そよ風」アンケートの回答・文章記述分より抜粋

＜平成28年5月実施＞

#### ◇ 「そよ風通信」について

- 1 毎回楽しみに読んでいます。励まされるし、参考になる。
- 2 書かれていることを実践してうまくいったこともあった。
- 3 子育てについて学習する機会があまりないので、毎回参考になった。
- 4 日常起こりうる子どもとの会話や生活の仕方など、参考にさせてもらっている。
- 5 スマホの話、とてもタイムリーでした。その時々に応じた内容で参考になることも多い。
- 6 「ああ、これでよかったんだ」と思うこともしばしばで、心が軽くなった。
- 7 はっとする内容があり、反省するとともに、改善策を提供していただいて参考にしている。
- 8 いつも心に残る言葉やエピソードが書かれていて、とても役立っています。日頃の子育てを振り返る良い機会だと思う。
- 9 親としての悩みを理解してもらっていると感じている。

#### ◇ 「子育て講座」について

- 1 何度か参加して、しつけのことなど分かりやすく話してもらって参考になった。
- 2 それぞれの意見、相談、経験などを聞いたり、話したりして不安解消ができ、いつも楽しく参加している。子どもを預けて皆さんと会話してストレス発散ができている。
- 3 ロールプレーしたり、発言を求められたりするの、少し抵抗がある。
- 4 子どもが二人いるとなかなかお茶を飲むこともできないので、今日のように茶話会形式だと、ゆっくりお話しできリフレッシュできた。午後からの家事や育児も頑張れた。心に響く話をありがとうございました。話を聞いた時、子どもができた日を思い出して、初心にもどっている。
- 5 同じように子育て中の人が集まれる場があるだけでも嬉しい。安心す

る場になっている。

- 6 「早寝早起き朝ごはん」が大切なのはよく分かったが、いつも仕事で帰りが遅くなり、夕食がいつも遅くなってしまい、寝るのも遅くなる。何か、よい工夫はないか聞きたい。
- 7 毎月1回の児童館での子育て広場を楽しみにしている。男性の支援員さんの意見も新鮮でした。
- 8 子育て広場で知り合った人たちと、子育てをサポートし合う組織を立ち上げようという話が出ている。

◇ 「相談対応」について

- 1 子どもが不登校で、ご飯も、のどに通らない状態の時、「そよ風」に来て話を聞いてもらうのが唯一の救いです。
- 2 卒業して学校の先生と縁が切れたが、「そよ風」と相談できるので助かっている。
- 3 4か月の赤ちゃんがいるので、相談をあきらめていたが、家まで来ていただいて相談でき、よかった。
- 4 今は大丈夫ですが、何かあればぜひ相談したいです。
- 5 相談したいと思ったが、時間がなかったり、タイミングが合わなかったりして行けないことがあった。
- 6 施設内の写真や相談員の紹介があれば行きやすい。
- 7 学校側の意見を言われるのではと警戒していたが、共感して聞いてもらい、気持ちが楽になった。
- 8 以前相談に行った人が「行ってみれば」と背中を押してくれて、相談に行った。勇気を出してよかった。

◇ 「大洲子育てサポートそよ風」への要望・意見等

- 1 1年半前、他県から引っ越してきて、このようなサポートがあると知り、嬉しく思いました。
- 2 仕事をしているので、土日の活動の機会があれば参加してみたい。
- 3 発達障害の子どもについて取組があればと思う。
- 4 学校で講演していただきたい。保育所での講座が印象に残っています。
- 5 子育て広場に参加した方が「とってもいいよ」と言っていた。みんなにもっと広く知ってもらうことが大切。
- 6 学校の人権参観日や学年別の参観日で、話す機会をもってもらいたい。



# 教育支援人材の育成と「循環型人材養成」に関する報告

～一般社団法人「教育支援人材認証協会」  
の取り組みを中心に～

平成28年9月30日

東京学芸大学 松田恵示

# (社)教育支援人材認証協会 「教育支援人材認証制度」

大学間連携により設置した一般社団法人が中心となり、**地域で子どもの教育活動を担う学生・住民の活動を支援**するため、**一定の受講経験や活動経験を評価・認証する、「教育支援人材認証制度」を構築**。認証者の活動現場は、地元自治体が用意したり、**一般社団法人がプラットフォームとなって地域課題解決のために、地域と連携を図りつつ運用**。

## 〈実施体制〉

「NPO東京学芸大子ども未来研究所」が取組の発展等を支援

地元自治体等が講座を共同計画

〈一般社団法人 教育支援人材認証協会〉理事長:東京学芸大学長

- ・プログラムの開発・認証
- ・会員大学の地域との連携による講座実施支援、
- ・制度活用・運用支援
- ・認証の管理、更新
- ・養成人材のネットワーク化

②プログラムの認証→

←①プログラムの申請

仕組の活用・運用支援  
パスポートクラブ・遊びのタネ活動

〈子どもパートナー〉※標準履修時間4時間  
H.27.4.1 現在 4,798名取得  
〈子どもサポーター〉※標準履修時間12時間  
H.27.4.1 現在 1,497名取得  
〈子ども支援士〉 ※標準履修時間30時間  
H.27.4.1 現在 124名取得  
(GP以降 計3,612名)

地元自治体等が認証者の活動場所を用意・情報提供

養成人材の出口支援

③養成講座準備

④養成講座実施

⑤養成講座終了

⑥上記社団法人において人材認証

⑦養成人材の活用

学校支援地域本部

放課後子ども教室

放課後児童クラブ

その他の子どもに関わる事業等

協会加盟大学 H.27.4.1 現在 21大学・専門学校加盟※  
※札幌大学、東京学芸大学、東京成徳大学、白梅学園大学、星槎大学、ヤマザキ学園大学、明星大学、新渡戸文化短期大学、浜松学院大学、奈良教育大学、東京未来大学、大阪成蹊大学、千里金蘭大学、中国学園大学、鳴門教育大学、日本文理大学、自由学園十文字学園女子大学、聖学院大学、日本児童教育専門学校

## 〈期待される効果の一例〉

- **大学をプラットフォームにして生涯学習を通じた地域づくりに貢献** (地域で学びを通し子どものサポートに協力できる市民・学生人材を育成)
- **大学と地域との連携事業の拡大** (子どもをサポートする事業を協働して実施でき、サポーターの学びを地域課題の解決につなげやすい)
- **学部教育、キャリア教育の一環として有効** (学生が認証取得後にボランティアとして活動。顕彰制度を今後展開の予定)

# 認証制度の特徴

- 一般社団法人「教育支援人材認証協会」が認証主体
  - 大学の集まりによる「持続性」と講師人材からの「質担保」
  - 専門学校等、教育機関の参加
  - 企業等の参加
- 講座内容設定における行政、団体、地域住民との連携
  - 「理論」からの「実践」をベースとした「共創型、ネットワーク型」の講座内容の設定
  - 「地域課題へ対応」と「学びの共通性」の両立
- 地域の拠点としての大学の活用
  - 学生と地域住民の「学びの共有」の機会(過程の共有体験)と、地域での活動への人間関係づくり
  - 学生や住人の地域アイデンティティの形成

子どもパートナー ※（必要時間 4時間以上）			
領域	要素		主な学域の例
子どもに関わり合う力	支援者とは	子ども支援者が必要となる社会背景とその意味・役割について理解する。子どもパートナーの理念と役割について考察する。	教育学 子ども支援学 教育社会学
	子どもの理解	こころ・社会・保育・保健などのアプローチから子どもについて理解を深める。	児童心理学、教育学、保育学 障がい学、児童福祉学、保健学
	子どもを取り囲む環境	現代の子ども事情と子どもを取り巻く様々な環境についての理解を深める。	子ども社会学、環境学、家族臨床学、児童福祉学、情報科学、教育学、保育学、政策学、児童文化論
	子どもとの接し方	発達段階や特別なニーズのある子どもへの支援について理解したうえで、コミュニケーションをとるための知識や技法、配慮事項を学修する。	子ども支援学、教育学、心理学、児童福祉学、障がい学、保育学、ジェンダー論



# こどもサポーターの特徴

- 「こどもサポーター」では、教育支援活動において教育支援者が自己PRできる、「焦点づけた支援活動の内容」を、「こどもサポーター(〇〇〇)」として括弧書きします。
- 例えば「こどもサポーター(特別支援教育)」「こどもサポーター(伝統芸能)」「こどもサポーター(放課後子ども教室)」などです。
- 地域や大学の実情や特性に応じてプログラムをご計画ください。
- 他の認証・資格と連携して「こどもサポーター(▲▲▲)」というプログラムを検討することも可能です。

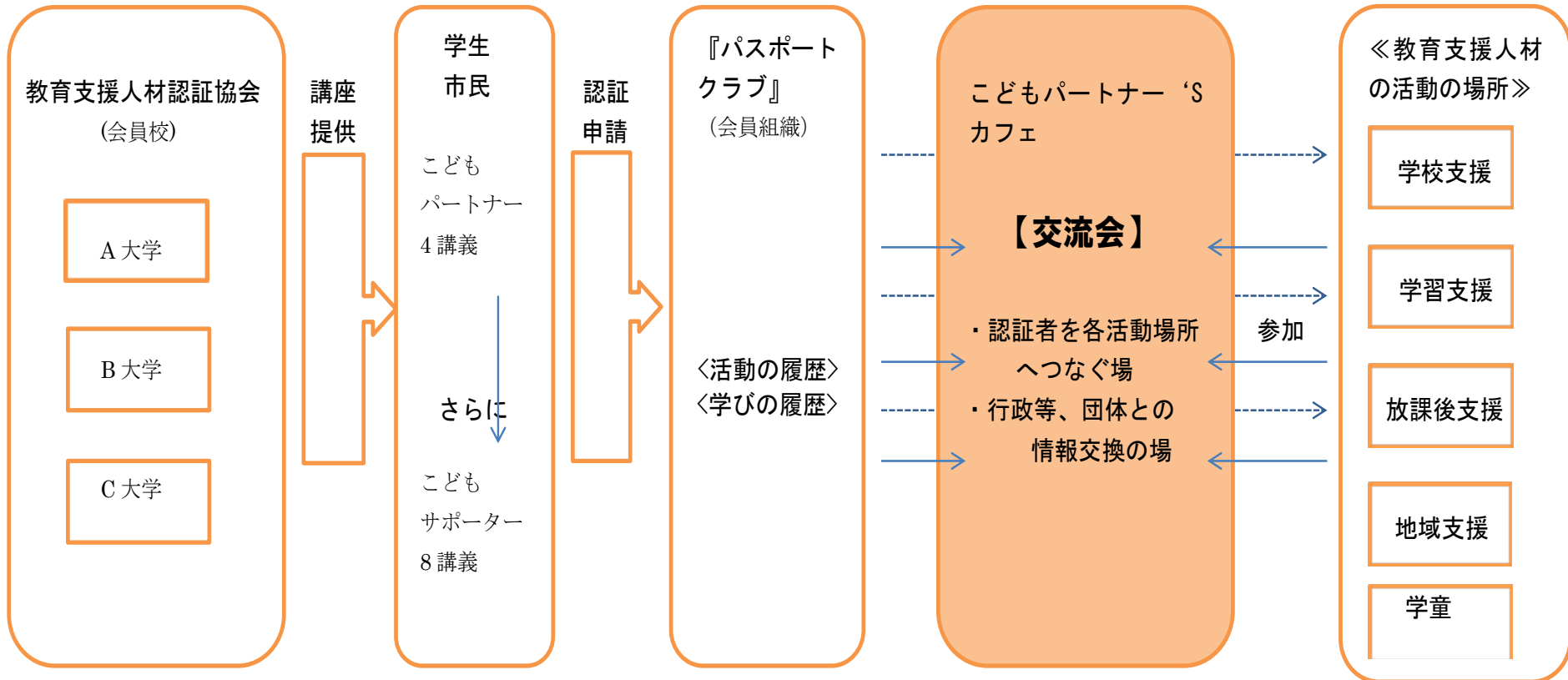
例. 青少年体験奨励制度、子育て支援員

こどもに関わる力+子どもに伝える力(計6時間)受講  
→こどもサポーター(青少年体験奨励コーチ)

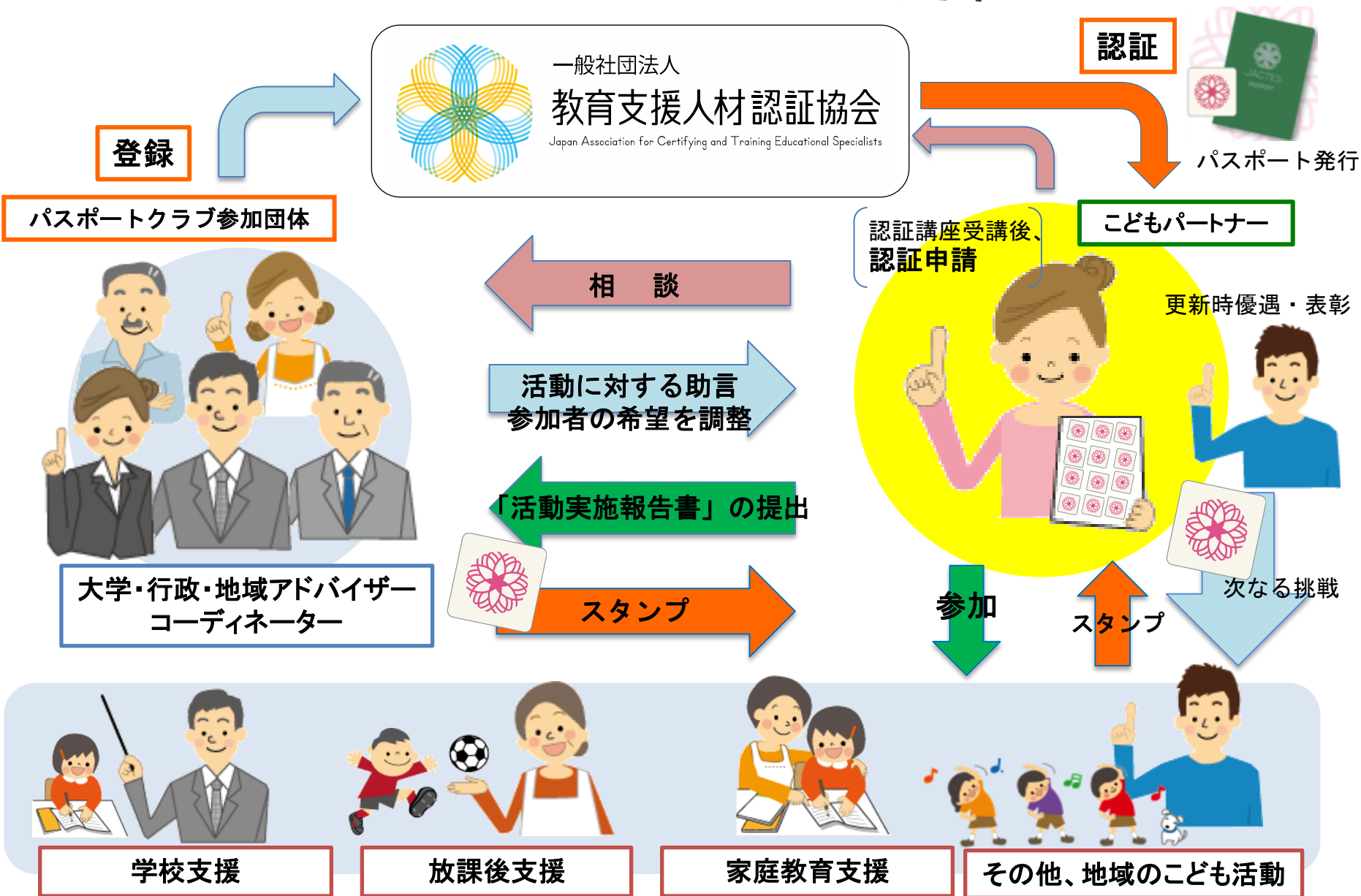
こどもサポーター ※（必要時間 12時間以上）				
領域	要素		時間	主な学域の例
こどもに関わり合う力	「こどもパートナー」の4要素		4時間以上	「こどもパートナー」に準じる。
子どもと伝え合う力	支援活動の具体に焦点づけた専門的内容	サポーターとしてPRできる伝える内容についての知識・技能など	8時間以上	内容に応じた専門学域
	こどもに伝える方法	表現、理解、フィードバック、人とのつなぎ、話し方など		
自身の活動を振り返る力	自己評価と集団形成	自らの行動を振り返り修正することの意味や方法についての理解。他者と連携することの大切さや方法についてなど。		内容に応じた専門学域



# 教育支援人材認証講座受講者の流れ



# パスポートクラブの流れ





# 「パスポートクラブ」から広がる出会いと活動

## ＜実践事例 一部紹介＞



### 地域団体との活動

- キッズカーニバル (小金井市 小金井青年会議所)
- 東京おもちゃショー (NPO法人東京学芸大こども未来研究所)
- わんぱく広場 (足立区 冒険遊び場の会)
- ギャラクシティあそびフェスタ他 (足立区 青少年課) など

### 学生と地域の連携

- 学生ボランティア (大阪成蹊大学 芸術学部)
- 学生ボランティア (新渡戸文化短期大学)
- 学内施設:こどもモードハウス 補助スタッフ (東京学芸大学) など

### 活動報告申請

(近くにシール設置団体がない場合はレポート提出で申請可)

- 体育指導員 (大阪府)
- わくわくひろば (神奈川県)
- スクールサポーター (大阪府)
- まちの先生 (大阪府) など

「パスポートクラブ」の詳細は、  
パンレットをご覧ください ▶▶▶▶



個人用



団体用



# 「パスポートクラブ」シール設置団体

・【徳島県】社会福祉法人 藍住町社会福祉協議会

## 【千葉県】

- ・ 八千代市役所 生涯学習部生涯学習振興課
- ・ 地域子育て支援センターすてっぷ21勝田台
- ・ 地域子育て支援センターすてっぷ21大和田
- ・ 八千代市役所 子ども部元気子ども課
- ・ 新川わくわくプレーパーク

## 【奈良県】

NPO法人 奈良地域の学び推進機構

奈良教育大学

大阪成蹊大学 芸術学部

千里金蘭大学

大阪国際大学

## 【大阪】

- ・ NPO法人 SEAN
- ・ (特非) きららの木
- ・ 子育て支援NPOキッズファインカラー
- ・ 笠岡ゆうゆうクラブ

日本文理大学

中国学園大学

鳴門教育大学

浜松学院大学

## 【東京】

- ・ NPO法人 ワーカーズコープ
- ・ 足立に冒険遊び場をつくる会
- ・ 特定非営利活動法人 足立区地域で子どもを育てる会
- ・ 足立区子ども家庭部青少年課

自由学園

日本児童教育  
専門学校

## 【東京】

- ・ 黄金ネットワーク～障がい児の父親の会～
- ・ 小平市国際交流協会
- ・ NPO法人 冒険遊び場の会
- ・ NPO法人 ユーパーク
- ・ 子育てサロン@SACHI
- ・ 特定非営利活動法人 遊び文化NPO小金井こらぼ
- ・ 特定非営利活動法人 こがねい子ども遊パーク

## 【北海道】

- ・ (福)北海道クリスチャンセンター福祉会
- ・ ねこぼっこのいえ
- ・ 豊平区役所市民部西岡まちづくりセンター
- ・ 豊平区役所市民部地域振興課
- ・ 豊平区役所保健福祉部健康・子ども課
- ・ (特非)北海道障がい者乗馬センター
- ・ 児童ディサービスセンター 悠々クラブ
- ・ 児童ディサービス 愛愛倶楽部
- ・ NPO法人札幌大学スポーツ・文化総合型クラブ
- ・ 札幌大学女子短期大学部

札幌大学

東京成徳大学

新渡戸文化短期大学

白梅学園大学

東京学芸大学

十文字学園女子大学

ヤマザキ学園大学

星槎大学

聖学院大学

明星大学 教育学部

東京未来大学

NPO法人 東京学芸大こども未来研究所

## 【東京】

- ・ NPO法人アクティブシニア応援団 PPK
- ・ NPO法人トータルサポート府中
- ・ NPO法人ライフデザイン推進協会
- ・ 外遊び喜び総合研究所
- ・ NPO法人地域子育て支援センター
- ・ NPO法人府中YSS
- ・ NPO法人じーばーとあそぼ
- ・ NPO法人地域教育ネット
- ・ NPO法人アクティブジュニアクラブ
- ・ 小金井青年会議所
- ・ 小金井ボランティアセンター
- ・ 日本女性学習財団
- ・ ひの教育センター

# 「学び」と地域課題のマッチング

- 講座内容設定に関する大学と地域との協働
- パスポートクラブ
- パートナー’S カフェ (サロンの設置・交流会)
- 共通化する地域課題への取り組みと支援現場の創出(青少年体験奨励制度の取り組みへの接続・「活用」から「参加」へ)
- 学校との連携の拡大、事業のネットワーク化(尼崎市、中央区、足立区等での取り組み)

# 事業を展開させるなかで

- 地域課題としての「教育的ニーズ」を明確に捉えることを地域とともに行なうこと
- 生涯学習の活用は、「学び→活用」のリニア型発想ではなく、「『課題①→学び①→活用①』⇨『課題②→学び②→活用②』⇨∞」のスパイラル型発想で
- 学校(実践・現場)との連携は「プロセスの共有」が必要、加えて「ICT」は学校は大の苦手
- 「学び」や「認証・資格」の質保障は、「内容」側面に比べて「講師」側面が大きいのでは
- 第三者機関としての大学連携団体(信頼)の活用

# 循環型の人材養成に関して

- 「ひとまわりして元の場所や状態に帰り、それを繰り返すこと」...循環

↓ 「支える⇔支えられる」

「ひとまわり」とは → 水平方向 / 垂直方向

→「流れ」を作り出す「学び」という営為  
出会いと自己変容... 「つながり支援」/on or off

平成28年9月30日

全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会

会長 猪木直樹

## 幼児教育との連携による家庭教育支援

### 1 全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会の概略

- 加入園数、会員数
- 全国大会について

### 2 単位PTAの取り組み

- 親育ち
  - ・第一義的責任を有する
  - ・すべてのスタート
- 地域との関わり
  - ・老人会
  - ・町内会
  - ・交通安全母の会
  - ・警察署
  - ・消防団
  - ・商工会議所
  - ・商店会
  - ・社会福祉協議会
  - ・保護司
  - ・更生保護女性会
  - ・チャレンジワーク
  - ・メディア
- PTAによる企画・運営
  - ・小さなコミュニティー

### 3 結び

- 現行の幼稚園PTA活動 = 家庭教育支援の基礎

### 4 課題

- 幼稚園PTAの重要性の告知
- 倉敷宣言 G7教育大臣会合